

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【公開番号】特開2018-126400(P2018-126400A)

【公開日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2018-031

【出願番号】特願2017-22653(P2017-22653)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	5/04	5 1 2 D
A 6 3 F	5/04	5 1 6 F
A 6 3 F	5/04	5 1 3 C

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月4日(2020.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の図柄が表示された複数の回胴を有し、各回胴の停止時の図柄の組合せにより遊技結果を導出表示する遊技結果表示手段と、
所定のゲーム開始条件の下、各回胴を回転させるための始動手段と、

前記始動手段の始動操作を契機に、少なくとも第1特定役と第2特定役とを含む複数種類の役に関する抽選を行い、当選役を決定する役抽選手段と、
各回胴のそれぞれに対応して設けられ、前記回胴の回転を個別に停止させるための複数の停止手段と、

前記停止手段の停止操作を契機に、前記当選役に対応する図柄の組合せが前記遊技結果として導出表示されうるように回胴を停止制御する停止制御手段と、
前記停止手段の停止操作に係るアシスト報知不許可状態中に所定の移行条件が成立した場合、当該アシスト報知不許可状態からアシスト報知許容状態へと移行制御する遊技状態移行制御手段と、

前記アシスト報知許容状態中に所定の特典付与条件が成立した場合、遊技者に有利な特典遊技に制御可能な特典遊技制御手段と、

前記アシスト報知許容状態の遊技回数に対応して更新可能に記憶する第1記憶手段と、を備え、
前記遊技結果に応じた遊技価値を付与可能に構成された回胴式遊技機であって、
前記特典遊技制御手段は、
前記特典遊技実行中に複数ある所定の終了条件のうちいずれかを満たした場合、当該特典遊技を終了可能に構成された特典遊技終了手段と、
前記特典遊技実行中に所定の延長条件を満たした場合、当該特典遊技を延長可能に構成された特典遊技延長手段と、を備え、

前記複数ある所定の終了条件には、前記第1記憶手段に記憶された値が第1所定値に達した場合が含まれ、
前記特典遊技の終了条件となる前記第1所定値は、前記特典遊技の延長の有無によらず一定であり、

前記特典遊技延長手段は、前記特典遊技における所定時点で遊技期間の延長の決定に係る抽選テーブルを第1抽選テーブルから第2抽選テーブルに変更し、

前記第1抽選テーブルより前記第2抽選テーブルの方が、延長される遊技期間の平均値が低い、

ことを特徴とする回胴式遊技機。

【請求項2】

前記所定の移行条件には、前記第1特定役に当選した場合、または、前記第2特定役に当選した場合、が少なくとも含まれる、

ことを特徴とする請求項1に記載の回胴式遊技機。

【請求項3】

前記所定の延長条件には、少なくとも前記第1特定役に当選した場合が含まれ、

前記第2抽選テーブルは、前記第1抽選テーブルと比較して、少なくとも前記第1特定役の当選に係る前記特典遊技の延長度合いが低くされている、

ことを特徴とする請求項1または2に記載の回胴式遊技機。

【請求項4】

前記所定の延長条件には、前記第1特定役に当選した場合、または、前記第2特定役に当選した場合、が少なくとも含まれ、

前記第2抽選テーブルは、前記第1抽選テーブルと比較して、前記第1特定役および前記第2特定役のいずれの当選に係る前記特典遊技の延長度合いも低くされている、

ことを特徴とする請求項1または2に記載の回胴式遊技機。

【請求項5】

前記所定の延長条件には、少なくとも前記第1特定役に当選した場合が含まれ、

前記第2抽選テーブルは、少なくとも前記第1特定役の当選に係る前記特典遊技の延長を含まない、

ことを特徴とする請求項1または2に記載の回胴式遊技機。

【請求項6】

前記特典遊技実行時において、前記第1抽選テーブル使用時には現出せず、前記第2抽選テーブル使用時には現出可能な特別演出を実行可能である、

ことを特徴とする請求項1～5のいずれかに記載の回胴式遊技機。

【請求項7】

複数段階に変更可能な設定値に応じて遊技者の有利度合いが異なるように構成され、

前記特別演出には、前記設定値を示唆する設定示唆演出が含まれる、

ことを特徴とする請求項6に記載の回胴式遊技機。

【請求項8】

複数段階に変更可能な設定値に応じて遊技者の有利度合いが異なるように構成され、

前記特別演出の実行中に前記第1特定役に当選した場合、前記設定値を示唆する設定示唆演出を実行可能である、

ことを特徴とする請求項6記載の回胴式遊技機。

【請求項9】

前記設定示唆演出は、前記設定値を確定的に報知する確定報知演出である、

ことを特徴とする請求項7または8に記載の回胴式遊技機。